

2025.02.25 シニアクラブ Online 会合報告

今年の冬は寒い日が続きました。日本海側や東北、北海道は大雪に見舞われています。青森県の酸ヶ湯温泉地域では5mもの雪が積もったとのニュースがありました。今回の会合のスタートは雪国からのライブ映像となりました。

写真は新潟県松之山温泉の様子です。駐車場までの道を除雪したら雪の壁になったとのこと。この日は雪もやんで快晴となり暖かい日となったが、雪が融けると屋根からの落雪が起きたり、夜になって凍るとアイスバーンになってしまうとのこと。屋根の雪下ろしをしてもまたすぐに積もってしまうようで、雪国の苦労が続きます。

しかし3月ともなるとこの雪は全て融けて本格的な春を迎えることになります。今しばらくの辛抱ですね。

シニアクラブ Online 会合はコロナ禍をきっかけとして2020年12月に始まり5年目を迎えました。テーマを決めてみんなで話し合ってきましたが（一方的な話の紹介に終始するくらいがありますが）事務局としてテーマネタ切れとなったところ、複数の参加者の方からこんなことを紹介したいとの連絡を受け、次のように今回の会合は進みました。



・殖栗さんから「殖栗家」のルーツについて紹介です。

左の図で聖徳太子の右手側に立つ皇子が第31代 用明天皇の皇子「殖栗皇子」です。殖栗家はそこをルーツとして何世紀にもわたり繋がってきたとのこと、今まで気安く「殖栗君」と呼んでいたが、“恐れ多いこと甚だし！”と恐縮した次第です。



現在、国内の苗字ランキングでは佐藤さん、鈴木さんなどがメジャーとなっていますが、「殖栗姓」を名乗る家は全国でも480ほどしかないとのこと。まさしく絶滅危惧状態。出身の新潟県長岡市にこの半数ほどの人たちが住んでいるとのこと。元会社にはもう一人「殖栗さん」が在籍されていました。タイトルの資料はその殖栗さんがまとめられたものとのこと。このOnline 会合報告をご覧いただきコメントいただける機会があれば幸いです。

・平塚さんから先月に続き、現在所属する日本経営倫理学会での活動について報告がありました。今回は昨年その学会でまとめた本の内容紹介で、幕末から明治の激動の時代に生きた3人の女性の話です。広岡浅子（大同生命の創始者）、津田梅子（津田塾大の創設者）、大山捨松（社交界で活躍）の3人で、それぞれ「明るさと強さ」「国際性」「女子教育」という共通した信念をもって活躍したとまとめています。

・宮田さんから寒い冬の中、南の空低いところに見られる星「カノープス」の紹介がありました。天空でシリウスに続き2番目に明るい星で“一目見ると75日寿命が伸びる”といわれているとのこと、皆で何度も眺めて寿命を延ばしましょう。

続いて最近読んだ本の紹介がありました。それぞれ読んでみれば思い当たる節があるかと思います。ご参考までに。



・浅見さんから春の歌の紹介です。今回は映像はなく音声のみです。次にアクセスしてお聞きください。 <http://www.jvc-senior.com/20250225asami.MP3>

・今回は以上となります。次回は3月18日（火）開催予定です。多くの皆様お集まりください。

2025.02.26 JVCKW シニアクラブ事務局 田代 周

